

## 梅雨の時季を迎えて

九州北部も先週末に梅雨入りし、今週は雨のスタートとなりました。右の写真のように、5・6年生が力を合わせてプール掃除をし、13日には水泳学習を開始する予定でしたが、あいにくの天候で延期になりました。6月は「水無月（みなづき）」と言い、雨の多い状態が1か月ほど続き、運動場に出て遊べない日も増えてきます。



そこで、図書委員会では、この時季にたくさん本を借りて読書ができるように、今週から来週にかけて「読書すごろく」という取組をしています。



借りた本の数だけスタンプをもらい、5個で「4冊貸出券」、10個で「特製しおり」がプレゼントされます。初日の13日の昼休みは、雨だったこともあって、返却・貸出カウンターに長蛇の列ができていました。これを機会にたくさんの子どもたちが良い本と出会い、読書に親しんでほしいと思います。



また、学校保健委員会でも、今年度第1回目の「メディアコントロールチャレンジ」を行います。メディアとの適度なつきあい方を考え、家族が触れ合う時間を増やすことを目的としております。16日（金）から開始しますので、皆様の参加をよろしくお願ひします。

## 喜々津っ子の心を見つめる教育週間

6月20日（月）～24日（金）は、「喜々津っ子の心を見つめる」教育週間です。ご存知かと思いますが、この目的はいつも以上に子どもたちの心を見つめ、命を大切に作る心や思いやりの心の育成、あいさつやマナーの向上など、豊かな心を育もうとする取組です。特に、道徳の授業公開では、「命」や「思いやり」「友情」といった内容について授業を行います。子どもたちには本音で授業に取り組んでほしいし、その結果、ものの見方・考え方が深まってほしいと願っています。皆様には子どもの様子を見ていただき、学級集会や相談会を通して、子どもたちの心に何が大切か、語り合えればと思います。



また、22日（水）2～4校時は、低・中・高学年別に体育館で『ピースバトン・ナガサキ』の皆さんによる「平和学習（講話）」を行います。今年はウクライナ侵攻による市街地への爆撃など、より一層、戦争で失われる命や平和の尊さについて考えなければいけないことがあります。保護者の皆様もお時間があればご覧になってください。

### コラム ～ 子どもの力を伸ばす！ すぐに手を貸しては・・・ ～

子どもたちは学習にスポーツに頑張っていますが、中には学級が変わり学習が難しくなったことで、不安や悩みを持っている子もいるようです。子どもたちの不安や悩みはすぐにでも取り除いてあげたいと思うのが親心ですが、全てを先回りして、手を貸すことがよいのかというと、そうではないときもあります。まずは自分で頑張らせること、その上で手を貸すこと、さらにはその援助も自分の力で解決できそうだと思うさせることも一つの「教育」だと思います。

いじめや暴力など、深刻な状況にはすぐに手を差し伸べなければなりません。自分なりに精一杯の努力をさせる経験は大切だと思います。これは学校でも、家庭や地域でも同じだと考えています。

